

TENORI-ON (TNR-W/O) VERSION 2.0 追加機能説明書

この説明書では、VERSION 2.0で追加された機能について説明します。

説明書で使っているイラストや画面はすべて操作説明のためのものです。したがって実際の仕様と異なる場合があります。

■ 追加機能

再生位置をループの先頭に移動する Reset Loop

Timing (リセットループタイミング)のショートカット

[L4]ボタンを押してから [R1]ボタンを押して、ループを開始位置(TOP)に戻すことができます。

出力音をミュート(消音)するMuteのショートカット

[R4]ボタンを押してから [L1]ボタンを押して、ミュートのON/OFFを切り替えることができます。

スイング感を出す Swing Rate(スイングレート)

“Main menu”→“Play menu”→“Swing Rate”



LEDボタンを左から数えて2番め、4番めなどの第2アクセントとなる拍のタイミングをずらすことにより、スイング感を出します。設定値が小さいほど1つ前のLEDボタンとの発音間隔が短くなります。設定値0はスイングなしです。

- Scoreモードのレイヤーにのみ有効です。
 - スイングをつけた状態で、ループのポイントやスピードを変更したり、Scoreモード以外のレイヤーに演奏データを入力したりなどすると、レイヤー間のタイミングがずれる場合があります。
- 設定範囲 -23~0~+23
■ デフォルト 0
■ LEDボタン 表示なし

自分でスケールを作成する User Scale Setting (ユーザースケールセッティング)

LEDボタンに音を割り当てて、スケール(音階)を自分で作成します。

- 1 ジョグダイアルと[OK]ボタンを操作し、以下の画面を表示させます。

“Main menu”→“Preference menu”→“User Scale Setting”

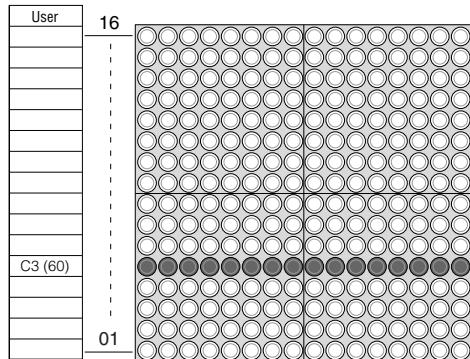


- 2 LEDボタンを押して、音階ノートNo.を選択します。

音階ノートNo.は、LEDボタン上にラインとして表示されます。

- Score/Random/DrawモードではLEDボタンの縦方向、Bounce/Push/SoloモードではLEDボタンの横方向がスケール(音階)となります。

LEDボタンの縦方向がスケールの場合



- 3 ジョグダイアルを操作し、手順2で設定した音階ノートNo.に割り当てる音を設定します。

- 4 [OK]ボタンを押して、音を確定します。

作成したスケール(音階)は、“Main menu”→“Play menu”→“Master Scale”でUserを選択してTENORI-ONでお使いください。

- 設定範囲 C-2~G8 (Octave = 0, Transpose = 0, Center Note = C3)
■ デフォルト イオニアの音(ノート)
■ LEDボタン 表示なし

シケンサーの演奏の再生ポイントを伝える MIDIメッセージ、ソングポジションポインター(F2)の受信

Slave Mode時のみ受信します。

■ バージョンのチェック方法

TENORI-ONマニュアルをご参照ください。

バージョン2.0での追加機能を使って録音した演奏をバージョン1.0で再生しても、2.0での追加機能は動作しません。